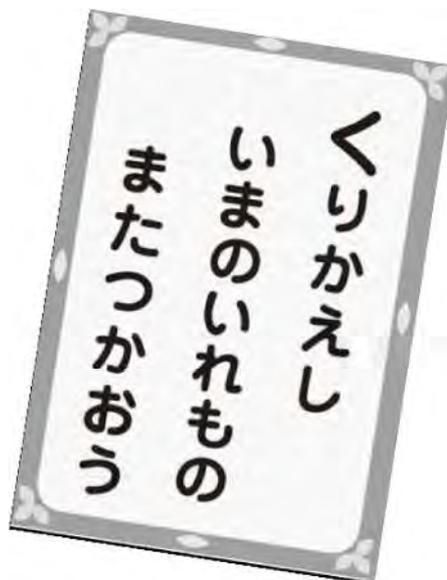


# 令和元年度 ごみ減量・もったいないねっと山形 総会

日時：令和元年5月30日（木）  
午後1時30分～午後3時30分  
会場：山形市役所11階大会議室



(ごみ減量すすむくん・かなえちゃん“かるた”から)

## 次 第

- 1 開 会
- 2 もったいないアワード2019
- 3 会長挨拶
- 4 市長挨拶
- 5 議長選出
- 6 議 事
  - 第1号議案 平成30年度事業報告及び  
収支決算報告（案）について  
監査報告
  - 第2号議案 令和元年度事業計画（案）及び  
収支予算（案）について
  - 第3号議案 役員の補充（案）について
- 7 情報交換 （午後2時30分頃から）

テーマ：花王のプラスチック容器に関する取り組み  
講 師：花王株式会社 ESG部門ESG活動推進部長  
理学博士 金子 洋平 氏
- 8 閉 会

## 平成 30 年度役員

(平成 30 年 5 月 30 日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
金 澤 和 子	長 瀬 洋 子 松 田 和 巳	鹿 野 順 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 村 中 秀 郎	渡 辺 明 渡 部 和 生

## 会員数

時点	個 人	団 体	事業者	計
設立総会時	35人	14団体	13事業者	62
H30.4.30	503人	41団体	181事業者	725
H31.4.30	498人	39団体	179事業者	716

## 平成 30 年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	早 坂 恵美子 武 田 さおり
5 R 情報発信部会	鈴 木 隆 男	上 野 清 子 井 上 英 俊
ごみ減量学習部会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 木 村 榮
広 報 部 会	村 中 秀 郎	伊 藤 美代子 荒 井 安 雄
ごみ減量アドバイザー部会	鹿 野 順 子	越 後 恵 美子 畠 山 優 子

## 1 総会・役員会

項目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換「エネルギー回収施設(立谷川)について～新しい清掃工場ってどんな施設?～」
第1回役員会		4月16日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月24日	部会活動について
第3回役員会		11月26日	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	2月 6日	平成30年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月13日	平成31年度の事業計画及び総会・第2部情報交換について

## 2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン イオンギフトカード寄贈受入	4月10日	イオン山形北店より寄贈 平成29年度分受領額 37,500円
ごみ減量ロビー展 [市役所1階 エントランスホール]	5月29日 ～6月1日	ブース設置、パネル展示、分別クイズ、エコいけばな、ごみ減量等啓発品配布、DVD上映
ごみ減量・もったいないねット山形 ウィンドウディスプレイ	5月9日 ～6月4日	場所：山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイ 本会活動のパネル及びエコいけばな作品展示
ごみ減量・資源化に向けた取組み に関する情報交換会出席 [山形市役所10階1001会議室]	6月4日	主催：山形市 食品用容器や雑がみのリサイクル、食品ロス削減の取組みについて、スーパー・百貨店・市民団体・山形市による情報交換会
容器包装交流セミナーin山形参加 [山形テルサ]	7月31日	主催：3R活動推進フォーラム 容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会
やまがた環境展2018参加 [山形国際交流プラザ]	10月27日 ～28日	主催：やまがた環境展2018実行委員会 ブース出展(パネル展示、ワークショップ、分別クイズ)
ごみ減量もったいないキャンペーン [イオン山形北店]	11月17日	共催：山形市 分別クイズ、リサイクル工作、ごみ減量等啓発品配布
30・10運動啓発用コースター 受入式 [山形市役所 特別応接室]	12月6日	山形環境保全協同組合様(本会会員)、山形市再生資源協同組合様(本会会員)、より「30・10運動啓発用コースター」20,000枚(それぞれ10,000枚ずつ)が山形市へ寄贈され、山形市と本会が連携して市民へ広く啓発を行うため、市長より当会へコースターが進呈された。
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン	12月11日	イオン山形北店にてレシート協力を呼びかけ
第11回やまがた市民活動まつり参加 [霞城セントラル1階アトリウム]	12月15日	主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 ブース出展(活動紹介、分別クイズ)
第10回ごみ減量すすむくん・かなえちゃんかるた大会共催 [市総合スポーツセンター武道場]	2月9日	主催：山形中央ライオンズクラブ[本会会員] 共催：本会、NPO法人まちづくり山形[本会会員] 山形センチュリーライオンズクラブ 後援：山形市、山形市教育委員会
広報やまがた掲載(山形市発行)	随 時	特集記事 会の活動紹介など
ラジオ広報出演 [ラジオモンスター(本会会員)]	毎週水曜	山形コミュニティ放送、市環境部番組枠「山形エコシティ」に各部会で出演、計10回



(30・10運動啓発用コースター受入式)



(ごみ減量もったいないキャンペーン)

### 3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となり、企画・準備から各事業実施までを行った。

#### (1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：4回

食品用容器の店頭回収や雑がみリサイクルの取組み、簡易包装の推進などについて、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指し、啓発活動を行った。  
また、キャンペーン時配布用啓発品として「食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ」を作成し、イベント等で配付した。

項目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への協力	5月29日 ～6月1日	会場：山形市役所エントランスホール 内容：本会ブース全般について広報・啓発（活動紹介、食品トレー&雑がみ分別クイズ、リサイクル啓発キャンペーン）
② 食品トレーリサイクルキャンペーン	6月15日 ～7月4日	会場：市内スーパー 6店舗 内容：食品用容器の分別パネルを展示し、店頭回収利用とマナーアップの呼びかけ、啓発品の配布を行った。 （事業者・山消連・山形市との連携）
③ 雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン	10月15日～ 11月17日	会場：市内スーパー・百貨店7店舗 内容：雑がみ分別のパネルを展示し、リサイクルや簡易包装の推進を呼びかけ、啓発品の配布を行った （事業者・山消連・山形市との連携）
④ キャンペーン時配布品の作成・配付	6月～12月	食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ（5,000個）作成・配布

#### 【延べ 94名スタッフ協力】



(家庭の食品ロス削減啓発用ポケットティッシュ作成)



(企画会議)



(食品トレーリサイクルキャンペーン  
ヨークベニマル落合店)



(雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン  
大沼山形本店)

(2) 5 R情報発信部会 企画会議：4回

会員拡大のため、入会案内チラシをリニューアルして新たなチラシを作成した。さらに、もったいないマップ Ver. 5に掲載されている市内事業者をスタッフが取材し、最新の情報を収集し、フェイスブックや情報誌を利用して情報発信を行った。

項目	期 日	摘 要
① 各種団体等の情報収集	6月～	対象：市内の事業者、各種団体、NPO等
② フェイスブックによる情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③ ごみ減量・もったいないねット山形入会案内チラシの作成	6月～10月	作製枚数：7,000部 やまがた環境展等各種イベントで配布

【延べ 36名スタッフ協力】



(企画会議)



(取材風景)

(入会案内チラシ)

(3) ごみ減量学習部会 企画会議：5回

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組みを広めるため、各種学習会を実施した。

項目	期 日	摘 要
① ごみ減量学習会	6月22日	参加者数：51人 くらしのダイエット～生ごみ活用法・家庭菜園実践編 講師：畠山優子アドバイザー
② リサイクル関連施設 研修会	10月 5日	参加者数：44人 (株)エフピコ山形選別センター、エネルギー回収施設（立谷川）
③リサイクル体験教室	11月21日 11月29日 12月 6日 (同一献立)	参加者数：19名 17名 18名 エコクッキング教室（全日 同一献立） 講師：ごみ減量アドバイザー部会 鈴木淳子さん

【延べ 106名スタッフ協力】



(企画会議)



(ごみ減量学習会)



(リサイクル関連施設見学会  
：(株)エフピコ山形選別センター)



(エコクッキング教室)

(4) 広報部会 企画会議：4回

会や会員の活動情報及びごみ減量等の取り組みについて、情報発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、フェイスブック更新や情報誌の発行を行った。  
 また、「30・10運動～宴会編～」 「30・10運動～家庭編～」の周知を図るため、「食品ロス削減啓発用クリアファイル」を作成した。

項目	期日	摘要
① フェイスブック・ホームページによる情報発信	随時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
② ホームページの更新	3月	情報誌、入会案内チラシデータ追加
③ 情報誌の発行	11月、3月	第23号、第24号 各4,000部
④ 食品ロス削減啓発用クリアファイルの作成	9月～11月	作成枚数：2,000枚
⑤ 各種取材	随時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

【延べ 37名スタッフ協力】



(企画会議)



(情報誌)



(食品ロス削減啓発用クリアファイル)

(5) ごみ減量アドバイザー部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性、実践方法を広めるため、本会会員の中から「ごみ減量アドバイザー」を登録し、市内の各任意団体やPTAを含む学校などが主催する「ごみ減量に関する学習会」に派遣した（計13回、延べ370名参加）。

また、山形市との共催により「もったいないアカデミー」を開催し、市民の方にごみ減量の方法をお伝えした。

項目	期日	参加人数	摘要
①派遣制度のPR	随時	—	派遣制度PRチラシ、ラジオ等
②新規アドバイザー募集	6月	—	
③スキルアップ研修会及び情報交換会	7月23日(月)	10名	アドバイザーのための研修会
④アドバイザー派遣	4月20日(金) [市立第九中]	11名	第九中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	4月24日(火) [市立第一中]	11名	第一中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月10日(木) [市保健センター]	8名	月よう会 「エコクッキング 食材使いきりレシピ」
	6月22日(金) [市役所大会議室]	51名	ごみ減量学習部会 「生ごみ減量講座 暮らしのダイエット ～生ごみ活用家庭菜園実践編」
	6月30日(土) [出羽コミセン]	24名	出羽小母親委員会 「風呂敷でかわいいバッグ、バンダナで子供用ウェストバッグなど」
	7月1日(日) [市立第四小]	46名	第四小学校つばさ学年 学年行事 「環境出前講座 マイはし作り」
	7月14日(土) [市立第十小]	127名	第十小学校にじ学年 親子行事 「環境出前講座 マイはし作り」
	7月19日(木) [小荷駄町3区 町内会集会所]	15名	小荷駄町3区町内会いきいきサロンあじさい会 「Tシャツで鍋敷き作り」
	11月21日(水) [中央公民館]	19名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング 第1回」
	11月29日(木) [中央公民館]	17名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング 第2回」
	12月6日(木) [中央公民館]	18名	ごみ減量学習部会 「エコクッキング 第3回」
	1月31日(木) [市立第八中]	7名	第八中学校総合活動部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	2月20日(水) [南部公民館]	16名	南部公民館主催事業 「地産地消デコ巻きずし・桃の花」
⑤もったいないアカデミー	1月29日(火) 2月5日(火) [市役所大会議室]	34名 35名	「あなたの『防災力』育てませんか？今すぐできる循環型備蓄のススメ」 「古着リメイクで『私だけの非常用持ち出し袋』を作しましょう！」 「ちょっと一息 お家にあるものでかわいいデコ和菓子」 「EMで 生ごみの減量から災害時の環境維持まで」

【延べ 64名スタッフ協力】



(企画会議)



(楽しく楽しいエコいけばな)



(Tシャツで鍋敷き作り)



(マイはし作り)

もったいないアカデミー ～災害への備えはエコな暮らしから～



(「防災力」と循環型備蓄)



(古着リメイクの非常用持出袋①)



(古着リメイクの  
非常用持出袋②)



(デコ和菓子)



(EMで生ごみ減量と環境維持)

**平成30年度収支決算報告**  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	57,305	6,695	
	繰越金	30,299	30,299	0	平成29年度より
	その他収入	33,701	27,006	6,695	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,657,305	6,695	

支出の部

(単位:円)

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	467,963	7,037	
	会議費	240,000	235,962	4,038	資料印刷費等
	事務費	115,000	112,198	2,802	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	119,803	197	総会等資料送付費
事業費		1,184,000	1,159,841	24,159	
	広報事業費(広報部会)	351,000	349,089	1,911	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	798,000	775,752	22,248	
	(買い物エコフレンド部会)	120,000	114,279	5,721	食品トレー等リサイクルキャンペーン キャンペーン用啓発品作成
	(5R情報発信部会)	128,000	121,240	6,760	5R情報啓発品作成 各種団体等の情報収集
	(ごみ減量学習部会)	210,000	204,353	5,647	ごみ減量学習会、リサイクル関連施設 研修会、エコクッキング教室開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	178,332	1,668	アドバイザー派遣 もったいないアカデミーの開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	157,548	2,452	食品ロス削減啓発品作成 ごみ減量かるた大会参加賞等
	減量すすむくん基金 繰出金	35,000	35,000	0	
予備費		5,000	0	5,000	
合 計		1,664,000	1,627,804	36,196	

収入金額 1,657,305 円  
 支出金額 1,627,804 円  
 差引金額 29,501 円(令和元年度に繰り越し)

**【特別会計】平成30年度減量すすむくん基金収支決算報告**  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
ごみ減量すすむくん寄付金	9,301	11,273	△ 1,972	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充 当を目的として
その他収入	35,699	35,699	0	
繰越金	699	699	0	平成29年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	45,000	46,972	△ 1,972	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 額 (A)-(B)	摘要
着ぐるみクリーニング費	45,000	45,036	△ 36	
合 計	45,000	45,036	△ 36	

収入金額           46,972 円  
 支出金額           45,036 円  
 差引金額           1,936 円(令和元年度に繰り越し)

## 監 査 結 果 報 告 書

平成30年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので、報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形  
会 長 金澤 和子 様

平成31年 4月 8日

ごみ減量・もったいないねット山形

監 事 渡辺 明 

監 事 渡部 和生 

## 令和元年度事業計画（案）

## 1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕、リデュース〔Reduce：発生抑制〕、リユース〔Reuse：再使用〕、リペア〔Repair：修理〕、リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます。
- ◎ 物を大事に、感謝する心、リスペクト【Respect】を大切にライフスタイルやビジネススタイルを見直します。
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し、会員や活動の輪を広げます。
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに、会員の声を聞き、開かれた運営を行います。

## 2 総会・役員会

項目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換
第1回役員会		4月15日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月	部会活動について
第3回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	1月	令和元年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月	翌年度の事業計画及び総会の進め方について

## 3 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
ごみ減量ロビー展	5月28日～ 5月31日	会場：山形市役所1階エントランスホール 内容：エコいけばな展示、雑がみ・食品トレー リサイクルキャンペーン、会員企業紹介
ごみ減量・もったいないねット山形 ウィンドウディスプレイ	5月24日～ 6月14日	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにおける本会の活動紹介
やまがた環境展2019参加	10月	会場：山形国際交流プラザ 主催：やまがた環境展2019実行委員会 「環境を考えるゾーン」にブース出展 パネル展示、ワークショップ、分別クイズ実施
第11回ごみ減量すすむくん ・かなえちゃんかるた大会	1月又は2月 (予定)	会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ 共催：本会
第12回やまがた市民活動まつり 参加	2月 (予定)	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会
広報やまがた掲載 (山形市発行)	随 時	特集記事 会の活動紹介等

## 4 各事業部会

### (1) 買い物エコフレンド部会

店頭回収の取組みや簡易包装の推進など、事業者と消費者が取り組める行動の情報を共有します。また、買い物袋持参の拡大・定着等の取組みを通し、消費者・事業者・行政という皆が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項目	期 日	摘 要
①ごみ減量ロビー展への参加	5月28日～ 5月31日	食品用容器や雑がみのリサイクル啓発キャンペーン、分別クイズの実施
②食品トレーリサイクルキャンペーン	6月～7月	市内スーパーにて食品用発泡トレー・透明容器の店頭回収やマナーアップの呼びかけ、啓発品の配布
③雑がみリサイクル・簡易包装推進キャンペーン	10月～11月	市内スーパー・百貨店にて雑がみ分別・簡易包装推進の呼びかけ、啓発品の配布
⑤キャンペーン時配布用啓発品作成・配布	6月～11月	キャンペーン時に配布する啓発品の作成

### (2) 5R情報発信部会

市内のNPO、各種団体、事業者団体等のごみ減量や資源の再利用の取組みについて、情報を収集・発信し、消費者及び事業者が利用できるごみ減量等の取組み拡大を目指します。

項目	期 日	摘 要
①各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内の事業者、各種団体、NPO等
②フェイスブック等による情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③情報発信ツールの作成	6月～3月	ごみ減量や資源再利用に活用

### (3) ごみ減量学習部会

ごみ処理の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、地域や職場等においてごみ減量等の取組を実践します。

項目	期 日	摘 要
①ごみ減量学習会	6月18日	「理由を知れば納得！ごみ・資源物の分別ルールのおさらい」 講師：山形市再生資源協同組合、 山形市環境部廃棄物指導課
②リサイクル関連施設研修会	10月 3日	
③リサイクル体験教室	11月21日 11月28日 12月 5日	エコクッキング教室 場所：中央公民館

#### (4) 広報部会

情報誌や様々な情報媒体を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報を発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項目	期日	摘要
①フェイスブック・ホームページによる情報発信	随時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
②情報誌の発行	11月、3月	第25号、第26号 各4,000部
③ごみ減量啓発グッズの作成	6月～11月	食品ロス削減啓発グッズの作成
④各種取材	随時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

#### (5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項目	期日	摘要
①アドバイザー派遣	随時	地域の集まりや学校など
②新規アドバイザー募集	5月～6月	
③スキルアップ研修会および新規アドバイザー登録証交付式	7月	アドバイザーのための研修会
④もったいないアカデミー開催	1月～2月	山形市と共催
⑤アドバイザー派遣制度の周知	随時	チラシ、広報やまがた等

**令和元年度収支予算（案）**  
 （平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		R元年度 予算額 (A)	H30年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	64,000	0	
	繰越金	29,501	30,299	△ 798	平成30年度より
	その他収入	34,499	33,701	798	学習会参加費、預金利子
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

支出の部

（単位：円）

科 目		R元年度 予算額 (A)	H30年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		475,000	475,000	0	
	会議費	240,000	240,000	0	資料印刷費等
	事務費	115,000	115,000	0	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	120,000	0	資料等送付費
事業費		1,184,000	1,184,000	0	
	広報事業費(広報部会)	361,000	351,000	10,000	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	788,000	798,000	△ 10,000	
	(買い物エコフレンド部会)	110,000	120,000	△ 10,000	食品トレー等リサイクルキャンペーン キャンペーン用啓発品作成
	(5R情報発信部会)	128,000	128,000	0	5R情報啓発品作成
	(ごみ減量学習部会)	210,000	210,000	0	ごみ減量学習会、リサイクル関連施設 研修会、エコッキング教室開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	180,000	0	アドバイザー派遣 もったいないアカデミー開催
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	160,000	160,000	0	ごみ減量啓発品作成 かるた大会参加賞代
	減量すすむくん基金 繰出金	35,000	35,000	0	
予備費		5,000	5,000	0	
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

## 【特別会計】令和元年度減量すすむくん基金収支予算（案）

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

### 収入の部

（単位：円）

科 目	R元年度 予算額 (A)	H30年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
減量すすむくん寄付金	9,064	9,301	△ 237	減量すすむくん着ぐるみクリーニング代充 当を目的として
その他収入	36,936	35,699	1,237	
繰越金	1,936	699	1,237	平成30年度より
繰入金	35,000	35,000	0	減量すすむくん基金繰入金より
合 計	46,000	45,000	1,000	

### 支出の部

（単位：円）

科 目	R元年度 予算額 (A)	H30年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
着ぐるみクリーニング費	46,000	45,000	1,000	
合 計	46,000	45,000	1,000	

第3号議案

役員の補充（案）について  
（任期：令和元年度総会～令和2年度総会）

新役員（案）	
幹 事	荒井 安雄

## ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

2 退会するときは、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。

3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。

ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。



# みんなでごみ減量・リサイクルに取り組もう!

市民の皆さんのごみ減量に対する意識の高まりにより、古紙のリサイクルや食品用容器の店頭回収などの取り組みが広がっています。しかし、ごみの中にはまだまだ減らせるものが含まれています。さらなるごみ減量のため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。  
 ☎ごみ減量推進課 ☎内線698

## もやせるごみに含まれる資源物の推移

家庭系もやせるごみ組成分析 (山形市調査)



〈家庭から出されるもやせるごみの内訳 (重量ベース)〉 (平成30年度山形市調査)



## ごみ減量ワンポイント ~ごみの中にはまだまだ“もったいない”がいっぱい!~

① 雑がみなどの紙類	雑がみとは、新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のリサイクルできる紙(空き箱、包装紙、パンフレットなど)です。雑がみ、新聞、雑誌、段ボールはおのこの分別して資源回収やごみ集積所(ペットボトルの収集曜日)に出してください。
② 布類	ボタンやファスナーは取らずに資源回収に出してください(もやせるごみに出す場合はボタンやファスナーは取り除いてください)。また、資源物引取事業所へ持ち込むこともできます。
③ 食品用容器	スーパーでは環境に配慮した取り組みとして、食品用容器の回収をしています。食品用容器を分別すれば、ごみ減量効果は絶大です。透明容器や発泡トレーの店頭回収にご協力ください。
④ レジ袋	平成20年のレジ袋無料配布中止の取り組み開始により、ごみとして捨てられるレジ袋は減ってきています。また、スーパー・百貨店でのマイバッグ持参率は約90%という高い数値です。スーパー・百貨店だけでなくコンビニエンスストアやホームセンター、ドラッグストアなどでの買い物の際も、マイバッグの持参をお願いします。
⑤ 割りばし	マイはしを上手に活用し、使い捨てのライフスタイルを見直しましょう。繰り返し使えるエコボトルや食器などを使用する習慣付けが大切です。
⑥ 生ごみ	水切りの徹底で生ごみの重さを減らすことができます。また、肥料として土に戻すこともお勧めです。生ごみ処理機の購入補助制度をご利用ください(詳しくは、ごみ減量推進課にお問い合わせください)。

# 食べ残しはもったいない!

## ～「30・10運動」で食品ロス削減に取り組みましょう～

「食品ロス」とは、まだ食べられる状態にもかかわらず廃棄される食品のことで、日本の食品ロスは年間約646万トンと推計されています（農林水産省平成27年度推計）。これは、製造過程で発生する規格外品や売れ残り、飲食店での食べ残し、家庭における食べ残しや食材の余りが主な発生原因とされています。

今回は、「宴会」と「家庭」における「30・10運動」を紹介します。

宴会で!

### 30・10運動～宴会編～で食べ残し削減!



年末年始の忘新年会シーズンに、運動を実践いただいた方も多いのではないのでしょうか。これから春にかけても、送別会や歓迎会など、宴会の多いシーズンです。今後も、宴会でぜひ30・10運動を実践し、楽しくおいしく料理をいただきながら食べ残しを減らしましょう。

**どのように実践するの?**

食べられる量を  
注文しましょう。

➡

乾杯後30分間は席を立たずに  
料理を楽しみましょう。

➡

お開き前の10分間は自分の席に  
戻って料理を楽しみましょう。

<30・10運動啓発用コースター>

家庭でも!

### 30・10運動～家庭編～を実践してみませんか?

冷蔵庫の中から食べられなくなった食品が出てきて、「もったいない」と思いながらごみに捨ててしまう…、そんな経験はありませんか?

こんな  
ものが多い  
のでは?

**冷蔵庫の中にあったもので、捨ててしまったものってどんなもの?**

- 食べられなくなった「ごはんのお供」（餅フレークや海苔の佃煮など）
- 使い切れなかった「調味料」（タレ、ソースなど）
- 食べられなくなった「作り置きのおかず」
- 使い切れなかった「お肉や野菜」（在庫があるのに忘れて過剰に購入したもの、料理の残りなど）

どの食材も、傷む前に気付くことができたら捨てずに済んだかもしれません。例えば、食べ切れない分は冷凍保存する、冷蔵庫内の在庫を確認し過剰購入を防ぐなど、少しの工夫で食品ロスになることを防ぐことができます。



実は  
こんなに多い!

## 食品ロスの約半分は 家庭から出ています!

日本における食品ロスの約半分（年間約289万トン）は家庭から出ています。この量は、世界中で飢餓に苦しむ人に向けた世界の食糧援助量（平成27年度で年間約320万トン）に迫る深刻な状況です！食品ロスの削減には、家庭での食べ残しや食材の余りを減らすことがとても重要です。

家庭の食品ロス削減のため、**30・10運動～家庭編～**を実践してみませんか?

**どんな運動?**

**30日と10日を冷蔵庫チェックデー**とし、冷蔵庫の中を定期的に整理することを習慣化していただくことで、食品ロス削減に取り組む運動です。まだ食べられる食材を無駄にせず、おいしくいただきましょう!



<冷蔵庫貼付用マグネットシート>

山形市は、市民団体「ごみ減量・もったいないねっと山形」と一緒に「30・10運動」に取り組んでいます。「30・10運動啓発用コースター（宴会編）」「冷蔵庫貼付用マグネットシート（家庭編）」を配布しています。詳しくは、ごみ減量推進課へお問い合わせください。

## 第二部情報交換

テーマ：花王のプラスチック容器に関する取り組み

講師：花王株式会社

ESG部門 ESG活動推進部長

理学博士 金子 洋平 氏

### 【金子氏の略歴】

1986年、花王株式会社に入社後、界面活性剤などの素材開発研究に従事。

2014年より、環境・安全推進本部、サステナビリティ推進部を経て、

2018年7月より現職。

ESGにかかわる社内推進、社外連携を担当。理学博士。

MEMO:

